

4-3-2.サーブレットのプログラムを動作させるための準備

サーブレットのプログラムを動作させるための準備

動的Webプロジェクトの作成

eclipseを使いプロジェクト作成する際に **動的Webプロジェクト**で作成します。

プロジェクト名と **ターゲット・ランタイム**を設定し、「次へ」をクリックします。

ここで指定したプロジェクト名がコンテナの名前になり、

プロジェクトのロケーションで指定したフォルダがコンテナの実行ディレクトリになります。

新規動的 Web プロジェクト

動的 Web プロジェクト

スタンドアロンの Java ベースの Web アプリケーションを作成するか、新規または既存のエンタープライズ・アプリケーションに追加します。

プロジェクト名:

プロジェクトの場所

☒ デフォルト・ロケーションを使用

ロケーション: [参照...](#)

ターゲット・ランタイム

[新規ランタイム...](#)

動的 web モジュール バージョン

構成

[変更...](#)

Tomcat9 (Java17) ランタイムを操作するための良い出発点です。後で新しい機能をプロジェクトに追加するために追加ファセットをインストールすることができます。

EAR メンバーシップ

☐ EAR にプロジェクトを追加

EAR プロジェクト名: [新規プロジェクト...](#)

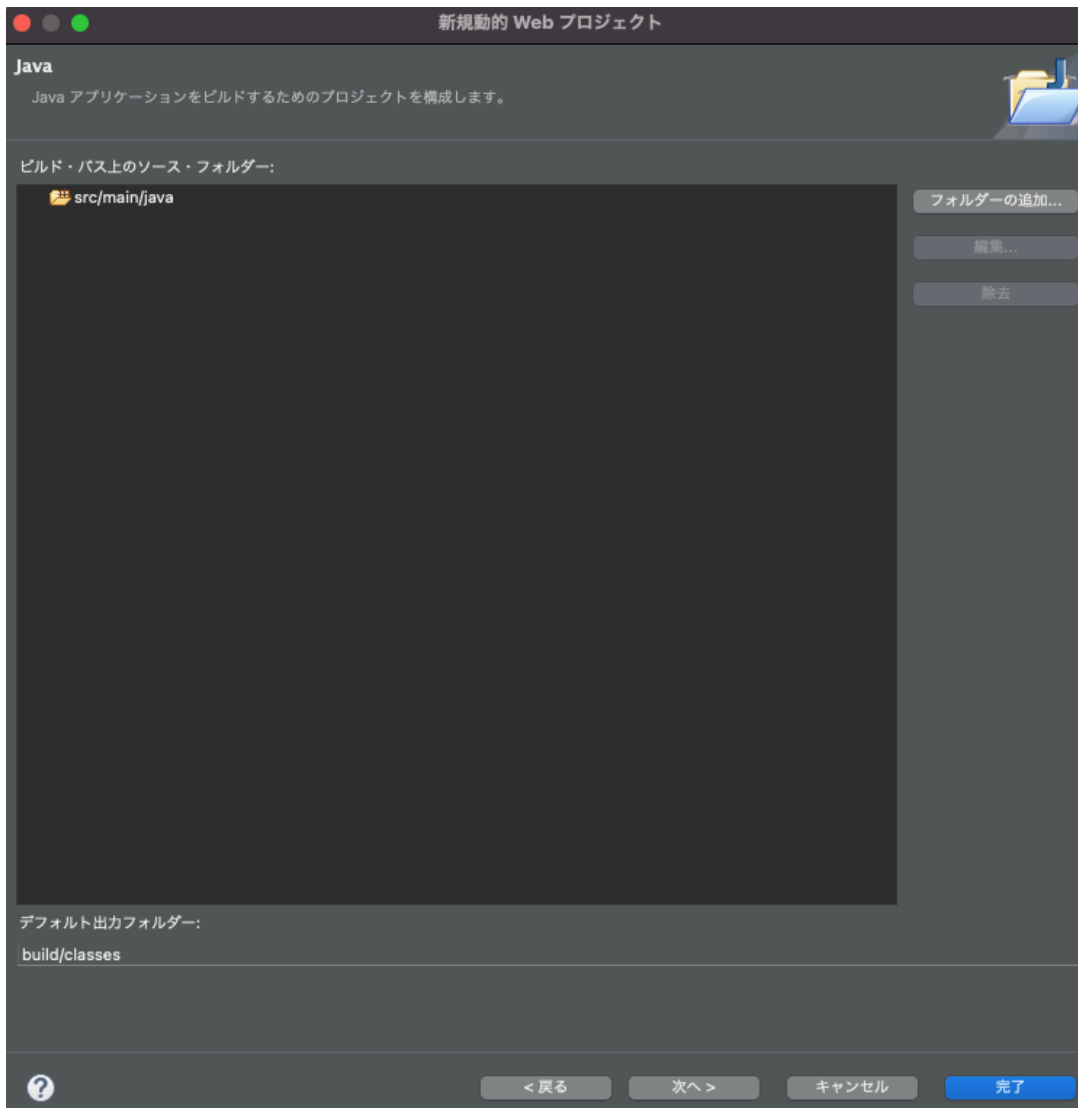
ワーキング・セット

☐ ワーキング・セットにプロジェクトを追加 [新規...](#)

ワーキング・セット: [選択...](#)

[?< 戻る](#) [次へ>](#) [キャンセル](#) [完了](#)

ソースコードが配置されるフォルダの名前および場所は基本的にそのままとします。



・コンテンツ・ルート

プロジェクトをサーバー上で動作させる際の名前になり、ブラウザからURLを入力する際、そのプロジェクトを指す為に使用されます。デフォルトではプロジェクト名と同じです。

いわゆる、URLという外部から参照されやすい部分になるため、

TestやSampleのような単純なものではなく、そのサービスに沿った意味のある名称などに設定されることが多いです。

・コンテンツ・ディレクトリー

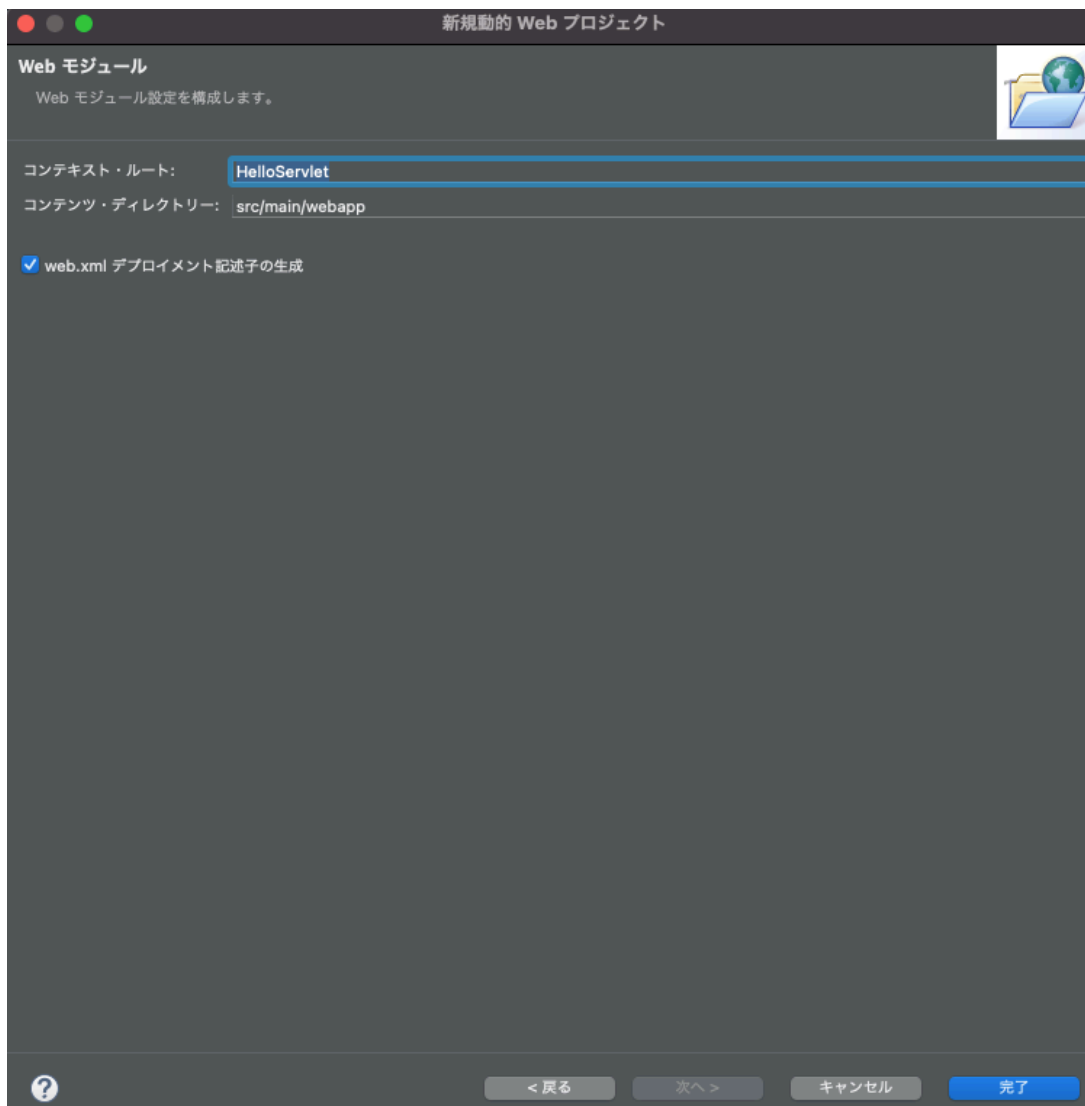
Webアプリケーションのファイル（htmlや画像コンテンツ、各種設定が詰まったxmlファイルなど）を配置するフォルダの名前です。このフォルダに入っていないファイルは外部から参照できません。

動的Webプロジェクトの場合、デフォルトはプロジェクトフォルダ直下の「Webapp」フォルダとなっています。

・web.xmlデプロイメント記述子の生成

チェックを入れると、プロジェクト内の必要な場所に、後述するweb.xmlファイルが自動的に作成されます。

（※チェックしないと作成されませんので、自身で適切な箇所に作成する必要があります。）



課題

提出課題はありませんので、一通り学習が終わったら次の章に進んで下さい。

最終更新日時: 2022年 08月 28日(日曜日) 08:36